

和木町子ども・子育て支援事業計画策定業務

子どもの意見聴取
調査報告

【和木町立和木中学校】

令和6年10月

Ⅰ. 調査概要

(1) 趣旨

「第3期和木町子ども・子育て支援事業計画」策定にあたり、当事者である子どもたちの声を反映するため、本町についてどのように考えているのか、子どもたちの興味・関心は何か、ニーズはどういったものがあるかを把握することを目的としている。

(2) 日時

9月3日（火曜）～4日（水曜）の朝時間

(3) 場所

和木町立和木中学校クラス内

(4) 対象の学級

1年生～3年生

(5) 方法

インターネットによるアンケート

(6) 回答者数

151人

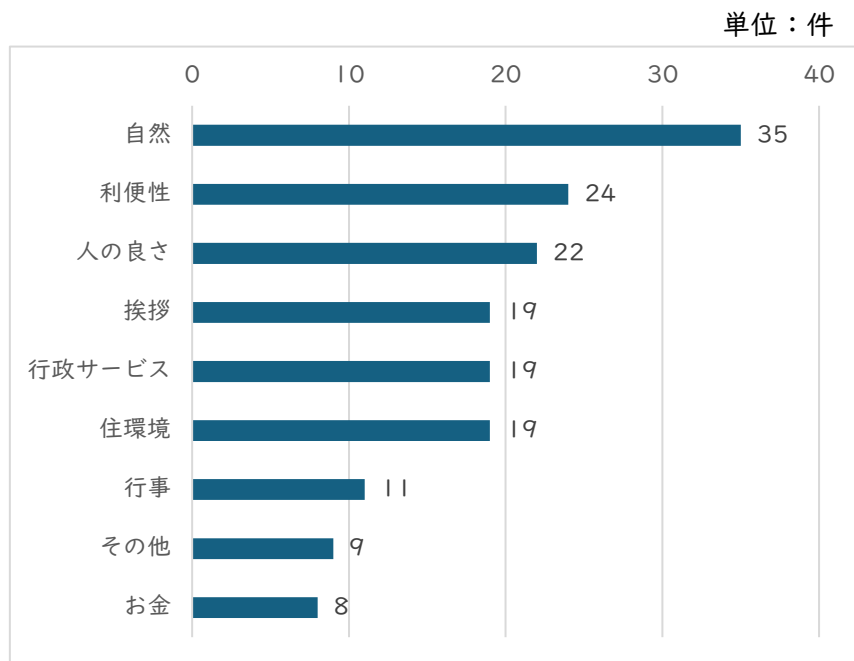
(7) 質問内容

- 問1. 和木町のよいところ
- 問2. 和木町の課題だと思ふところ
- 問3. 和木町に残していきたい・つくっていききたいもの
- 問4. 和木町を一言で表すならどんな言葉ですか
- 問5. 今一番楽しいこと、今後楽しみにしていること
- 問6. 普段自宅以外で自分の居場所だと感じることができる場所がありますか
- 問7. 自分の意見を聞いてもらっている、自分の考えを出せる場所がありますか

2. 調査結果まとめ

問1：和木町のよいところ

和木町のよいところについてみると、「自然」が35件（全体の21％）と最も多くなっています。次いで「利便性」と「人の良さ」の件数が多く、上位3項目でおよそ半数を占めています。



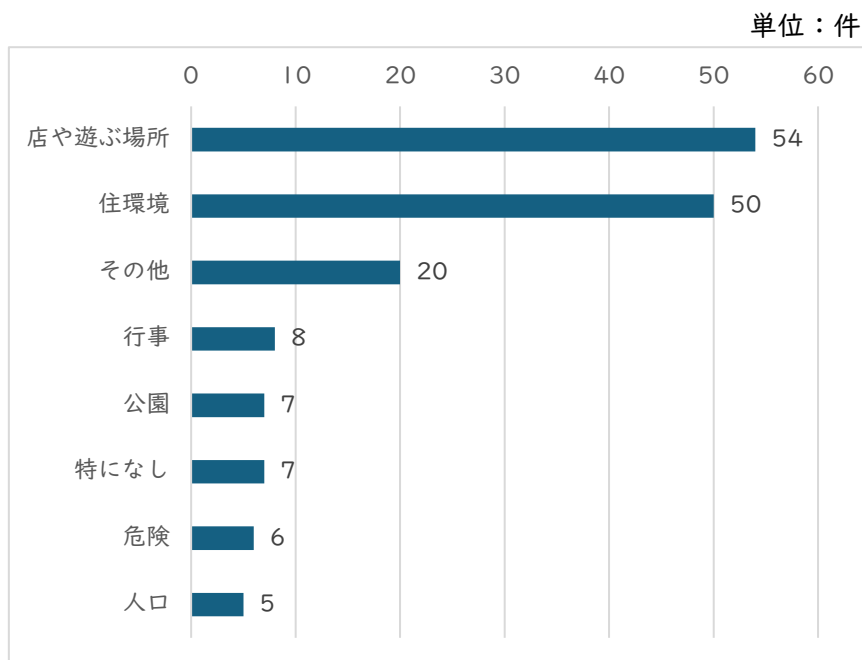
（回答数151のうち、複数回答あり。集計総数166）

アンケート回答

1. 自然	2. 利便性	3. 人の良さ
自然が豊か、山がある、空気が美味しい、緑が多い	交通の便がよい、コンパクト、蜂ヶ峯・病院・図書館がある	人が優しい、地域の人との関りが良い、明るく元気
4. 挨拶	5. 行政サービス	6. 住環境
あいさつ運動している、いろんな人が挨拶をしてくれる、あいさつの町	給食費が無料、漢検や英検、医療費など負担してくれる	ゴミが少ない、治安がよい、スクールガードの方など子供の安全を守る人がいる
7. その他	8. お金	9. 行事
人数が少ない割に学校が広い、楽しい	お金持ち	イベントがよく盛り上がるところ、花火大会がいい、行事がたくさんある

問2：和木町の課題だと思うところ

和木町の課題だと思うところについてみると、「店や遊ぶ場所」が54件（全体の34%）と最も多くなっています。次いで「住環境」と「その他」の件数が多くなっています。



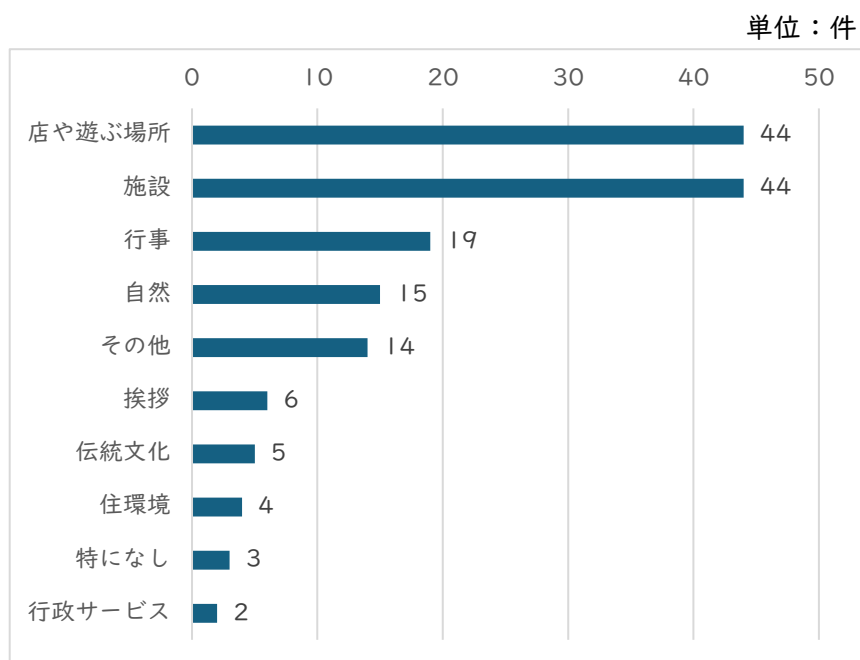
（回答数151のうち、空白および複数回答あり。集計総数157）

アンケート回答

1. 店や遊ぶ場所	2. 住環境	3. その他
商業・娯楽施設が少ない、室内・小さい子・中学生が遊べる場所が少ない	ポイ捨てしている人がいる、ゴミが落ちている、地域の人との関わりの場が多くない、ゴミ箱が少ない、虫が多い	観光客や移住者が少ない、何もない、給食が美味しくなくなった、イベントや建物などへのお金の使い方
5. 行事	6. 公園	7. 危険
地域行事の参加が少ない、イベントが少ない	公園の遊具が古い・少ない、公園で球技ができない	古い建物がいっぱいある、道がでこぼこしている、事故が起きやすい箇所がある
8. 人口		
人口が少ない、小さい子・生徒が少ない		

問 3：和木町に残していきたい・つくっていききたいもの

和木町に残していきたい・つくっていききたいものについてみると、「店や遊ぶ場所」と「施設」が同数の 44 件（全体の 28％）と最も多くなっています。次いで「行事」の件数が多くなっています。



（回答数 151 のうち、複数回答あり。集計総数 156）

アンケート回答

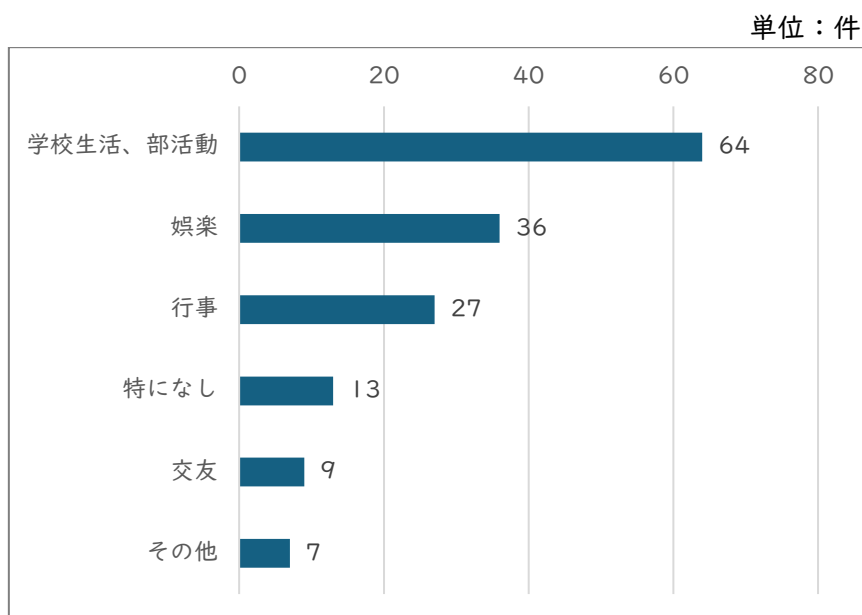
1. 店や遊ぶ場所	2. 施設	3. 行事
商業施設、本屋、娯楽施設、ゲームセンター、遊べる場所、バッティングセンター	和木町オリジナル建造物、図書館、ゴミ箱、病院、蜂ヶ峯、アスレチック	和木あいあいフェスティバル、お祭り、いっせい清掃、花火大会
4. 自然	5. その他	6. 挨拶
自然を残していきたい、植物	時代にあったもの、みんなで協力して作った物、雰囲気、人との関わり、助け合い	誰にでも挨拶をできるので挨拶は忘れないように残していきたいです、元気の良さ
7. 伝統文化	8. 住環境	9. 行政サービス
和木町で代々続けられてきた伝統を残していきたい	綺麗な街をつくる、ポイ捨てをしない意識、みんなが過ごしやすい環境	給食費無償、ニュージーランド研修

問 4：和木町を一言で表すならどんな言葉ですか

住民・文化
親切、わきあいあい、元気な町、明るい町、あいさつの町、仲の良い街 みんな優しい、子供が元気いっぱいな街、華やか、smile、ボランティア 笑顔溢れる明るい町、活気、協力的な町
住環境
住み良い町、平和、小さい町、自然豊かな町、不衛生、田舎、暖かい、山 便利、美、緑、治安が良い、子育てのしやすい町、楽しいところ、緑の風薫る文化の町
その他
お金持ち、不便な和木町、蜂（蜂ヶ峯の印象しかないから）、普通なところ 山口県の東側のはしっこ、独立、和、元日本一裕福な村、発展途上町、はっちー、コンパクト

問 5：今一番楽しいこと、今後楽しみにしていること

今一番楽しいこと、今後楽しみにしていることについてみると、「学校生活、部活動」が64件（全体の41％）と最も多くなっています。次いで「娯楽」と「行事」の件数が多く、上位3項目でおよそ8割を占めています。



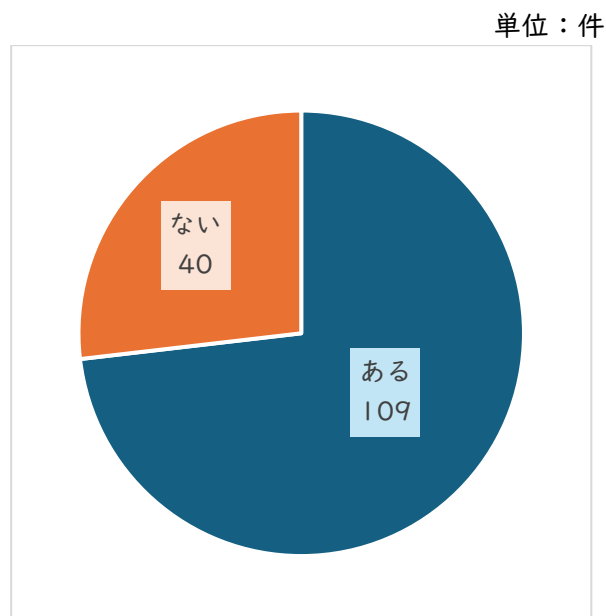
（回答数 151 のうち、空白および複数回答あり。集計総数 156）

アンケート回答

1. 学校生活、部活動	2. 娯楽	3. 行事
文化祭、体育祭、部活動、修学旅行、オープンスクール、給食、勉強	ゲーム、本を読む、出かける、絵を描く、推活、家でゆっくりする、	和木あいあいフェスティバル、お祭り、花火大会、神楽、はっちーハロウィン
4. 交友	5. その他	
友達と遊ぶこと、出かけること	お金が増える事、ショッピングモールができること、調べる事	

問 6：普段自宅以外で自分の居場所だと感じることができる場所がありますか

普段自宅以外で自分の居場所だと感じることができる場所があるかについてみると、「ある」が 109 件（全体の 73%）でした。主な居場所としては、学校、祖父母宅、習い事でした。



（回答数 151 のうち、空白回答あり。集計総数 149）

アンケート回答

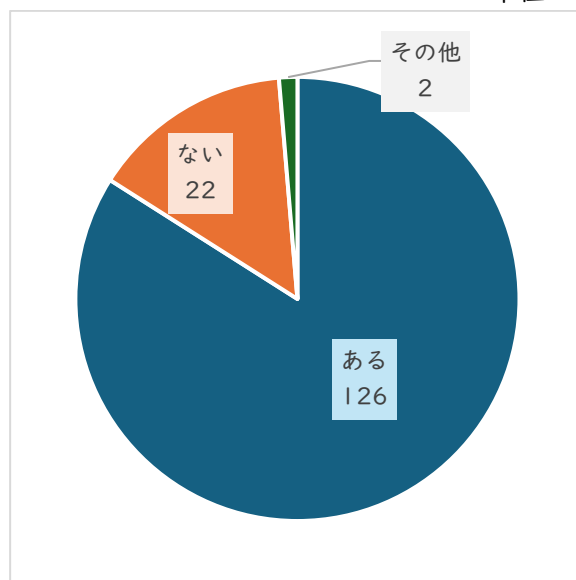
主な居場所（69 件回答あり）	
学校	32 件
祖父母宅	8 件
習い事	8 件
友達の家	7 件
図書館	6 件
公園	4 件
その他（部屋、1 人になれる場所、和木町）	4 件

問 7：自分の意見を聞いてもらっている、自分の考えを出せる場所がありますか

それはどんなところですか？

自分の意見を聞いてもらっている、自分の考えを出せる場所があるかについてみると、「ある」が 126 件（全体の 84％）でした。主な場所としては、学校、家でした。

単位：件



（回答数 151 のうち、空白回答あり。集計総数 150）

アンケート回答

主な居場所（145 件回答あり）	
学校	72 件
家	54 件
友達	9 件
その他（祖父母宅、落ち着く場所、町、ネット）	7 件
習い事	3 件

3. 所感

問 1～5 より、対象の中学生が本町の良いところ（自然や挨拶、人の良さ等）を理解し、今後に残していきたいと感じていることがわかる。これは、町が目指す未来と一致している。一方で、娯楽については、物足りなさを感じていることが多く、特に公園・商業施設の増加を求める声が多かった。

問 6.7 で、心理的な健康状態の把握をすることができるが、およそ 7～8 割の学生が「居場所がある」と回答している。主な居場所として、家より祖父母宅と回答していることが目立つが、共働き等、社会環境の変化に伴うことが要因として考えられる。およそ 2～3 割の居場所がないと回答した学生に向けたアプローチも今後必要と考える。